

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	社会調査法（Method of Social Survey）		
ナンバリングコード	E21401	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／標準レベル 地域マネジメント
単位数	2	配当学年／開講期	2 年／前期
必修・選択区分	コース必修:地域マネジメントコース 選択:BSソリューションコース、会計ファイナンスコース、スポーツビジネスコース、こども・福祉コース コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E046101	クラス名	-
担当教員名	今西 衛		
履修上の注意、 履修条件	地域マネジメントコースの学生は必修科目です。 旧カリの社会福祉士国家試験受験希望者は必修科目です。 新カリは社会福祉調査法を受講すること。社会調査法と社会福祉調査法との重複履修はできない。		
教科書	酒井 隆（著）「図解 アンケート調査と統計解析がわかる本[新版]」日本能率協会マネジメントセンター、2012年		
参考文献及び指定図書	社会福祉士国家資格推奨テキスト 石田路子(2009)『社会調査の基礎』久美出版 その他は備考欄を参照		
関連科目	地域マネジメントコース必修科目、演習科目、統計に関する科目、プログラミングに関する科目、観光に関する科目、地域経営に関する科目、詳細は備考欄を参照してください。		

○基本情報		
授業の目的	本講義では 現場で起きている事柄に対して問題を発見し分析する能力、問題を解決し、新しい提案を行う能力について、専門教育を目的とします。 具体的には、地域の課題を客観的に発見し、持続可能なまちづくり(SDGs)、定量データ、定性データを分析できる能力、および、事業を客観的に評価する能力(データサイエンス)を習得することです。これは、カリキュラム・ポリシーにある「世の中の変化」を社会調査法を通して、理論と実践を効果的に組み合わせるカリキュラムの一つです。これらからの時代、A.I.にできない、創造力、マネジメント能力を身につけてもらいます。	
授業の概要	本講義は、まちづくりマーケティング、観光学入門、フィールド調査等を関連科目を念頭に置き、シナリオ作成から分析手法までをイメージした社会調査の基礎を学びます。 そのため、アンケートの種類、作成方法から、定性分析、定量分析、個人情報保護、データの改ざん問題など、社会調査の一連の内容をテキストに従って、講義します。 加えて、旧カリの社会福祉士受験希望者にも対応できるよう、地域や経済だけでなく、福祉などのサンプル例も例示することで、習熟度を高めてもらいます。 地域マネジメント、こども・福祉マネジメントの専門的・実践的知識を習得するためのリテラシーを身につけてください。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	社会調査の意義と目的を理解している		5点	5点
【知識・理解】	社会調査の概要、社会調査の倫理、集計、統計について理解している。	20点	5点	5点
【技能・表現・コミュニケーション】	調査設計、実査、分析、報告書作成までの一連の作業を説明することができる。	20点	5点	5点
【思考・判断・創造】	社会の課題を解決するための調査設計を企画することができる。	20点	5点	5点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
毎回の講義で課題が課されます。したがって、毎回出席していないと、課題も提出できませんので注意してください。 Sレベル: 社会調査の知識を習得し、社会調査を実際に行うことができる能力が備わっている。 Aレベル: 社会調査の知識を習得し、課題の解決のための最善な社会調査の方法について根拠づける説明がなされている。 Bレベル: 社会調査の知識は習得し、課題を解決するための関連づけができています。 Cレベル: 社会調査法の知識を習得している。 講義形式ではあるが、都度、習得に必要な質問したか、講義時間外に習得のための努力をしているかなど20点満点で評価する。 課題は採点ご返却すると同時に、集計ベースで講義の中で解説します。課題の内容を再確認して、学習成果を上げていく。

○その他
参考文献 社会福祉士国家資格受験希望者は、以下の書籍もあわせて参考にしてください。 社会福祉士養成講座編集委員会編(2013)、『社会調査の基礎』中央法規出版社: 中央法規出版; 第3版、ISBN-13: 978-4805837603 宮本和彦他、(2019、『社会調査の基礎』、弘文堂; 第4版、ISBN-13: 978-4335611933 平山尚他、(2003)、『ソーシャルワーカーのための社会福祉調査法』、ミネルヴァ書房、ISBN-13: 978-4623038312 社会調査法に関しては以下の文献を参考にしてください。 川原靖弘、斎藤参郎編著(2017)、『ソーシャルシティ』、放送大学教育振興会、ISBN-13:978-4595317187 大正大学地域構想研究所/日本青年会議所「地域再興会議」編著、(2018)、『別冊地域人 地方創生に役立つ!「地域データ分析」の教科書(地域創生のための総合情報)』、大正大学出版会 ISBN-13:978-4924297982 SAS Institute Japan株式会社、(2019)、『AI実用化のための実践ガイド～SAS Viyaではじめるアナリティクス・ライフサイクル入門～』、リックテレコム、ISBN-13:978-4865941821 Saburo Saito、Kosuke Yamashiro eds.、(2019)、Advances in Kaiyu Studies: From Shop-Around Movements Through Behavioral Marketing to Town Equity Research (New Frontiers in Regional Science: Asian Perspectives)、Springer、ISBN-13: 978-9811317385 倉田博史、(2017)、『大学4年間の統計学が10時間でざっと学べる』、KADOKAWA、ISBN-13: 978-4046020000 伊達平和、高田聖治、(2020)、『社会調査法』、学術図書出版社、ISBN-13 : 978-4780607048 竹村 彰通他編著、(2021)『データサイエンス入門 第2版』、学術図書出版社、ISBN-13 : 978-4780607307 北川 源四郎他編著、(2021)『教養としてのデータサイエンス』、講談社、ISBN-13 : 978-4065238097 ※推奨テキストをもとに講義を行いますので、購入をお勧めします。 ※その他参考テキストについては、講義時に随時紹介します。 関連科目 地域マネジメントコース必修科目:まちづくりマーケティング、地域ブランド論、地域イノベーション論、 演習科目:フィールド・スタディIA、IB、II、III、まちづくりマーケティング演習、フィールド調査 講義科目:地域経営論、観光学入門、観光ビジネス論、データ解析A、経済統計A、B、システム分析論、プログラミング入門、プログラミング言語 授業計画 講義内容については、レポートの採点結果、習熟度に応じて内容を変更する場合があります。 感染状況等を踏まえ、講義形態を変えることがあります。 対面での定期試験が実施できない場合は、オンライン試験を実施し、成績評価の「テストII」に反映されます。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	社会調査法（Method of Social Survey） 今西 衛	授業コード	E046101
学修内容					
1. 社会調査とは					
社会調査の目的について説明します。また、社会福祉調査との共通点、相違点についても説明します。なぜ、社会調査を行わなければならないのかその意義を理解して下さい。					
予習	教科書の目次をみて、興味関心があるところを付箋などでマークしておいて下さい				約2時間
復習	社会調査を行う意義についてしっかり理解して下さい。				約2時間
2. アンケート調査とは(pp.10-13)					
アンケート調査とは何か、また、アンケートの種類について学んで下さい。					
予習	教科書pp.10-13をあらかじめ読んでおいてください。				約2時間
復習	地域の課題があるときにどのようなアンケートを行えば良いか考えて下さい。				約2時間
3. 社会調査種類(pp.13-30)					
社会調査のおける、それぞれの長所、短所を学んで下さい。					
予習	教科書pp.13-30をあらかじめ読んでおいて下さい。				約2時間
復習	社会調査のそれぞれの長所・短所を自分なりに考えて下さい。				約2時間
4. 社会調査の企画・設計(pp.32-50)					
社会が持つ課題、社会調査の企画・設計の進め方などについて学びます。とくに、経営経済学科で学ぶPDCAサイクルについて、社会調査ではどのような意味を持つのか考えて下さい。					
予習	教科書pp.32-50をあらかじめ読んでおいて下さい。				約2時間
復習	他の科目で学ぶPDCAサイクルとの違いについて考えて下さい。				約2時間
5. 定性データと定量データ(pp.52-74)					
社会調査で得られるデータには、性別、居住地などの定性データと、年齢、年収などの定量データがあります。これらのデータの違いについて学んでもらいます。特に、定量データについては統計分析では重要なツールになります。					
予習	教科書pp.52-74をあらかじめ読んでおいて下さい。				約2時間
復習	定性データと定量データの違いを理解して下さい。				約2時間
6. 経験と勘から根拠に基づく説明へ(pp.1-74)					
これまでのまちづくりや政策は、経験と勘に頼っていた部分が多々あります。しかし経験と勘だけでは他人を説得することはできません。定量データなど根拠に基づいた説明を身につけてもらいます。					
予習	これまでの講義の流れを復習しておいて下さい。				約2時間
復習	定量データを使うとどうして根拠に基づく説明になるのか考えてみて下さい。				約2時間
7. サンプリング(pp.76-96)					
政策の対象となるすべての人を対象に調査を行うことは不可能です。代表的な被験者を選ぶ必要があります。そのときの注意事項について学んでもらいます。					
予習	教科書pp.76-96をあらかじめ読んでおいて下さい。				約2時間
復習	サンプリングを適当にするとどのようなことが起こるのか考えて下さい。				約2時間
8. データの集計					
データの集計の仕方によって、政策立案者の都合のよいものになってしまいます。中立的な集計の仕方について学んでもらいます。					
予習	教科書pp.126-137をあらかじめ読んでおいて下さい。				約2時間
復習	おかしなデータ集計がインターネット上に溢れています。探してみてください。				約2時間

○授業計画		科 目 名 担当教員	社会調査法（Method of Social Survey） 今西 衛	授業コード	E046101
学修内容					
9. 代表値(pp.138-156) 世帯平均年収という言葉聞いたことがありますか？平均には、単純な平均だけではなく、いろいろな平均などがあります。その違いと計算方法について学びます。さらに、Excelを使った方法についても紹介します。					
予習	教科書pp.138-156をあらかじめ読んでおいて下さい。				約2時間
復習	計算問題のレポートを解いて下さい。				約2時間
10. カイ2乗検定(pp.157-163) 数字を見るといかにも正しい錯覚に陥ります。データが正確なのか検定する必要があります。この回ではカイ2乗検定について学びます。					
予習	教科書pp.157-163をあらかじめ読んでおいて下さい。				約2時間
復習	サンプル例を使ってExcelでカイ2乗検定してみてください。				約2時間
11. t検定 (pp.164-168) この回では2つのグループに違いがあるかどうかを調べる t検定について学びます。					
予習	教科書pp.164-168をあらかじめ読んでおいて下さい。				約2時間
復習	サンプル例を使ってExcelでt検定してみてください。				約2時間
12. 相関係数・単回帰(pp.169-174) 社会調査で重要な因果関係に学んでください。物事の結果には必ず、原因があります。それを取り違えるとおかしなことになります。因果関係、相関関係について学び、データがある傾向に近いかどうか判定します。					
予習	教科書pp.169-174をあらかじめ読んでおいて下さい。				約2時間
復習	サンプル例を使って相関係数を求めてみて下さい。				約2時間
13. 重回帰(pp.193-200) 変数が多くなってくると、データ分析は大変です。目的に応じて解析ツールが異なります。これらは、数学が苦手な人、統計になじみが ない人にとっては、とっつきにくいです。これらは統計の専門家に任せるとして、なぜ学ばないと行けないのか。それは、データを正しく読む力が求められているからです。重回帰を例に、データを正しく読む力を養って下さい。					
予習	教科書pp.193-200をあらかじめ読んでおいて下さい。				約2時間
復習	サンプル例を使って、データを正しく読む力を養って下さい。				約2時間
14. 多変量解析 (pp.201-279) 多変量解析の詳しい内容については、関連科目で学んでください。ここでは、データを正しく読む力を養うために、どのような解析があるのか紹介します。					
予習	教科書pp.201-279をあらかじめ読んでおいて下さい。				約2時間
復習	教科書で示されているツリーを理解しておいて下さい。				約2時間
15. 個人情報保護 近年、個人情報保護の高まりにより、データの取り扱いが厳しくなっています。轟・杉野編『入門・社会調査法』第2版 法律文化社 社会調査士対応テキスト pp.204-207 を中心に、個人情報の取り扱いについて学びます。					
予習	個人情報問題をインターネットで調べておこう				約2時間
復習	逆に、自ら個人情報を提供する人もいます。そのあたりも調べておきましょう。				約2時間
16. 定期試験 これまでの内容について、記述式の試験を実施します。試験問題は、シラバスの成績評価基準に準じた問題です。テキスト、自筆ノート、配付資料は持ち込み可とし、試験時間は80分です。					
予習	試験勉強				
復習	試験解答解説				